

【新規】畜産堆肥活用推進モデル事業

【目的】 畜産堆肥活用拡大による有機農業者の増加、環境負荷低減・資源循環型農業の推進

【内容】 ①堆肥舎整備・機械導入経費を補助

②課題検証・作物の生育状況等を調査・報告 → 堆肥活用の課題解決策を県に毎年提言（3年間）

【条件】 耕種の有機JAS認証者・特別栽培農産物認証者・（ぐんま）エコファーマーであること（個人、法人、生産者団体）

【補助率】 1/2以内（上限：個人・法人10,000千円、生産者団体20,000千円）

有機農業の生産拡大に向けた堆肥活用の課題

有機農業は
化学肥料不使用

生産力の高い土を作るには
良質な畜産堆肥が必須

堆肥活用に向けた
アンケート(R5)
(回答1,032件)

【見えた課題】
①品質の不安：46%
②散布の労力：37%
※複数回答

堆肥活用推進に向けた解決方策

- ①栽培土壌に適した堆肥製造 → 堆肥舎整備を推進
- ②人力から機械散布で労力軽減 → 機械導入を推進

補助対象

- ・ 堆肥舎
- ・ フロントローダ
(アタッチメントのみ)
- ・ 堆肥散布機（自走式含む）



堆肥舎



堆肥散布機（自走式）



フロントローダ
(アタッチメント)